



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社

コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤野 兼人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	37,571	△6.1	2,227	3.1	2,211	△24.6	1,791	△28.0
28年3月期第2四半期	40,024	13.4	2,161	125.1	2,932	129.7	2,488	38.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,908百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,422百万円 (94.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	74.22	—
28年3月期第2四半期	101.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	82,394	68,634	83.3	2,844.33
28年3月期	87,443	72,029	82.4	2,984.99

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 68,634百万円 28年3月期 72,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△6.5	4,200	△7.7	4,600	△15.8	3,700	3.5	153.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	27,813,026 株	28年3月期	28,813,026 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	3,682,747 株	28年3月期	4,682,561 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	24,130,393 株	28年3月期2Q	24,557,215 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が堅調であったものの、円高進行や外需減退の影響で輸出が振るわず、個人消費も力強さを欠く等、景気回復が足踏み状態となりました。

一方、世界経済は米国で着実な景気拡大が続き、欧州でも緩やかな景気回復が見られましたが、中国をはじめとする新興国では景気が減速し、英国のEU離脱問題の発生もあり先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、中国においてネット販売が好調で増加しましたが、工業品合成樹脂製品分野の売上高が、円高進行によって海外での売上高の円換算額が縮小したこと等により減少しました。

この結果、売上高は375億71百万円(前年同期比93.9%)となりました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上増と原価改善等により営業利益が22億27百万円(前年同期比103.1%)となり、経常利益は前年同期との比較では投資有価証券売却益と為替差益が減少する一方で、為替差損が増加したこと等により22億11百万円(前年同期比75.4%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億91百万円(前年同期比72.0%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、新型収納ケース「プロフィックス カバコ」をはじめとする新製品の市場投入等で売上高が順調に伸長していましたが、秋口に天候不順の影響等を受け、足踏みを余儀なくされました。工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により売上高が減少しました。利益面は、原価改善等が寄与したものの売上高減少の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、112億85百万円(前年同期比95.3%)となり、セグメント利益(営業利益)は10億70百万円(前年同期比83.5%)となりました。

(中国)

上海天馬精塑有限公司で工業品に比べ収益性の高いハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長し、厳しい状況にあった天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司で業績が改善傾向に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は、133億43百万円(前年同期比94.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は9億21百万円(前年同期比132.9%)となりました。

(東南アジア)

好調を続けていたベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.の業績が伸び悩みましたが、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.で、新設の第2工場の稼働率が向上して、収益性が改善し業績に貢献しました。

この結果、当セグメントの売上高は、129億43百万円(前年同期比91.9%)となり、セグメント利益(営業利益)は7億49百万円(前年同期比115.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて50億48百万円減少し、823億94百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が25億95百万円、建物及び構築物(純額)が11億17百万円、現金及び預金が10億95百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて16億54百万円減少し、137億60百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が9億75百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて33億95百万円減少し、686億34百万円となりました。これは、自己株式の消却により控除項目である自己株式が14億51百万円減少したこと、為替換算調整勘定が50億96百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細は本日(平成28年11月4日)別途公表いたしました「平成29年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,141,629	31,046,275
受取手形及び売掛金	15,807,462	13,212,425
商品及び製品	2,291,890	2,434,689
仕掛品	493,328	619,547
原材料及び貯蔵品	3,334,117	3,083,680
繰延税金資産	220,244	223,541
その他	1,718,871	1,723,490
貸倒引当金	△5,635	△3,841
流動資産合計	56,001,907	52,339,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,415,051	8,297,565
機械装置及び運搬具(純額)	9,263,627	8,348,084
その他	3,389,432	3,851,873
有形固定資産合計	22,068,111	20,497,521
無形固定資産	3,182,265	2,865,990
投資その他の資産		
投資有価証券	5,116,609	5,594,933
退職給付に係る資産	665,838	670,830
繰延税金資産	5,042	4,339
その他	425,433	431,280
貸倒引当金	△22,288	△10,206
投資その他の資産合計	6,190,633	6,691,176
固定資産合計	31,441,008	30,054,687
資産合計	87,442,915	82,394,493
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,544,639	8,569,279
未払法人税等	574,694	432,164
賞与引当金	862,108	704,506
その他	3,219,641	2,853,526
流動負債合計	14,201,082	12,559,474
固定負債		
役員退職慰労引当金	216,388	228,810
退職給付に係る負債	247,516	247,554
資産除去債務	20,287	17,282
繰延税金負債	728,250	706,903
固定負債合計	1,212,441	1,200,549
負債合計	15,413,524	13,760,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	36,125,913	35,979,835
自己株式	△6,793,775	△5,343,230
株主資本合計	67,481,988	68,786,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,518	965,833
為替換算調整勘定	3,878,627	△1,217,173
退職給付に係る調整累計額	92,130	99,248
その他の包括利益累計額合計	4,547,275	△152,092
非支配株主持分	129	107
純資産合計	72,029,392	68,634,470
負債純資産合計	87,442,915	82,394,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	40,024,433	37,571,240
売上原価	33,016,252	30,321,599
売上総利益	7,008,181	7,249,641
販売費及び一般管理費	4,846,844	5,022,172
営業利益	2,161,337	2,227,469
営業外収益		
受取利息	124,017	114,766
受取配当金	101,376	85,288
投資有価証券売却益	355,473	—
為替差益	153,663	—
その他	72,915	56,782
営業外収益合計	807,443	256,837
営業外費用		
売上割引	40,477	47,627
開業費償却	2,404	33,588
為替差損	—	190,716
貸倒引当金繰入額	△7,000	—
その他	828	1,183
営業外費用合計	36,708	273,114
経常利益	2,932,073	2,211,191
特別利益		
固定資産売却益	7,265	20,259
会員権売却益	8,935	—
特別利益合計	16,200	20,259
特別損失		
固定資産売却損	2,954	235
固定資産除却損	5,137	3,499
特別損失合計	8,090	3,734
税金等調整前四半期純利益	2,940,182	2,227,716
法人税等	452,134	436,827
四半期純利益	2,488,048	1,790,889
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,488,053	1,790,891

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,488,048	1,790,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,112,297	389,314
為替換算調整勘定	65,640	△5,095,813
退職給付に係る調整額	△19,546	7,119
その他の包括利益合計	△1,066,202	△4,699,380
四半期包括利益	1,421,846	△2,908,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,421,859	△2,908,476
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,940,182	2,227,716
減価償却費	1,730,255	1,648,454
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44,661	△96,173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,623	△13,085
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,352	12,422
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△36,629	5,264
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35,552	34,276
受取利息及び受取配当金	△225,393	△200,054
為替差損益(△は益)	△86,408	188,284
固定資産除却損	5,137	3,499
固定資産売却損益(△は益)	△4,311	△20,024
投資有価証券売却損益(△は益)	△355,473	—
売上債権の増減額(△は増加)	379,930	1,383,723
たな卸資産の増減額(△は増加)	556,343	△474,566
仕入債務の増減額(△は減少)	△841,331	△207,779
その他	△126,531	△600,839
小計	3,905,687	3,891,119
利息及び配当金の受取額	196,896	263,085
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△438,834	△525,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,663,748	3,629,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,408,264	△16,663,877
定期預金の払戻による収入	18,412,611	12,944,491
有形固定資産の取得による支出	△710,386	△2,145,300
有形固定資産の売却による収入	8,025	33,068
有形固定資産の除却による支出	△4,925	△2,039
無形固定資産の取得による支出	△33,376	△26,021
投資有価証券の取得による支出	△1,310	△94,811
投資有価証券の売却による収入	732,736	—
貸付けによる支出	△945	△702
貸付金の回収による収入	19,832	567
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,998	△5,954,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△1,541,584	△337
配当金の支払額	△497,138	△485,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,038,721	△486,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,921	△1,464,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,613,103	△4,276,565
現金及び現金同等物の期首残高	9,474,249	15,993,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,087,352	11,716,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、自己株式を消却することを決議し、平成28年5月27日に自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,450,870千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,837,422	14,101,143	14,085,869	40,024,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,915	62,022	—	144,937
計	11,920,337	14,163,165	14,085,869	40,169,370
セグメント利益	1,281,273	692,537	649,159	2,622,969

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,622,969
セグメント間取引消去	△1,668
全社費用(注)	△459,963
四半期連結損益計算書の営業利益	2,161,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,285,396	13,343,293	12,942,552	37,571,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,961	59,718	15,126	129,806
計	11,340,357	13,403,011	12,957,678	37,701,046
セグメント利益	1,069,671	920,685	749,023	2,739,380

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,739,380
セグメント間取引消去	1,704
全社費用(注)	△513,615
四半期連結損益計算書の営業利益	2,227,469

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。